

年 組 名前 :

問1

中央アルプス駒ヶ岳に放鳥予定のニホンライチョウは、どこで飼育されていましたか。

.....  
.....

問2

次の中で、絶滅危惧種に指定されている鳥に○を付けてください。

- ( ) スズメ
- ( ) コウノトリ
- ( ) トキ
- ( ) ツバメ
- ( ) ウグイス
- ( ) ハヤブサ

問3

絶滅危惧種を保護する活動は、SDGs の目標「陸の豊かさを守ろう」につながります。

あなたは、絶滅危惧種を保護するには、どのようなことをしていけば良いと考えますか。

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

# 飼育ライチョウ 野生復帰へ一歩

環境省信越自然環境事務所は10日、栃木県那須町の「那須どうぶつ王国」と長野市の「茶臼山動物園」で飼育していた国の特別天然記念物で絶滅危惧種のニホンライチョウ22羽を放鳥のため、中央アルプス駒ヶ岳にヘリコプターで

## 動物園から中央アルプス移送

移送した。昨年駒ヶ岳から両園に移送された成鳥と、園で誕生したひなが含まれていて、飼育した個体の野生復帰は全国初となる。  
1週間ほどケージ内で環境に慣らした後に放鳥する予定。野生の個体数を増やし、群れの復活を目指す。  
ヘリは10日午前、「那須どうぶつ王国」で雌の成鳥3羽とふ化したひな16羽をのせて出発。途中で「茶臼山動物園」から車で運ばれてきた雄の成鳥1羽と雌の成鳥2羽を積み込み、午後駒ヶ岳に到着した。「ライチョウ保護増殖事業」を進めてきた環境省は、20

20年4月に短期計画を策定。つがいのない野生の雌が温めている無精卵を、有精卵に取り換えて抱卵させるなどの取り組みを進めてきた。  
自然の環境ではふ化したひなが外敵や悪天候のために死ぬケースがある。安全な動物園で飼育後に野生復帰させようと、昨年8月に駒ヶ岳でライチョウの雌とひなを保護し、両園で飼育と繁殖をした。

(2022年8月11日付 山梨日日新聞 21面)